

市長への提言 令和2年6月末日現在					
件名	要旨	市の考え方	受付日	回答日	担当部署
事務作業のICT化について	政府が「在宅勤務とテレワーク」を推奨していますが、政府の中心部などでは、テレワークが進んで居ません。台湾などの事例を参考に、枚方市役所においても事務作業のICT化を進めて欲しいです。	本市においても、事務作業のICT化など、先進的な取り組みを積極的に進めたいと考えており、令和2年度の市政運営方針の中で公民連携をはじめAIやRPA(ソフトウェア型ロボット)などを積極的に取り入れ、課題解決のための構想を描き、果敢にチャレンジしていく視点、姿勢を持った「挑戦する自治体」への変革を進めることを明記しています。具体的には、行政手続きのデジタル化(来庁予約システム、窓口支援システム、電子申請の導入)による市民サービスの向上や、AI-OCRとRPAを活用した業務効率化など、事務作業の効率化に向けた取り組みを進めており、また、テレワークについても、このたびの新型コロナウイルスの対応において本市でも在宅ワークを利用した交代勤務を初めて実施したところ。今後は、安定した行政サービスを市民の皆様へ提供していくには、職員の数にかかわらず、ICTの活用が重要であり、引き続き、ICTの導入や行政手続きのデジタル化を積極的に進めます。	2020/4/13	2020/6/10	ICT戦略課
図書館の東香里分室の閉室について	香里ヶ丘図書館リニューアルに伴い、東香里分室の廃止が決まりましたが、存続を求める住民の気持ちを聞いてもらいたい。	東香里分室の閉室については、住民の皆様からの「残すことはできないか」という声もあり、分室が地域の皆様に親しまれ、長く愛されてきたことを再認識しています。本市にとって香里ヶ丘地域の活性化は大きな課題であり、老朽化が進んだ香里ヶ丘図書館を新たな文化発信拠点として再生させることで、活性化を担うスポットにしたいと考えています。分室の見直しについても、そうした新たなまちづくりの一環として取り組んでいることをご理解くださいますと幸いです。分室の閉室後は4月以降、周辺地域に自動車文庫を巡回させるなどして読書環境の確保を図る考えです。新しい香里ヶ丘図書館は7月22日(水)にオープンします。今後の図書館活動にご期待ください。	2020/4/24	2020/6/18	中央図書館
ニッペパーク岡東中央公園の遊具を増やして欲しいことについて	ニッペパーク岡東中央公園の遊具を増やしてください。登り棒、鉄棒、シーソー、ジャングルジム、砂場を増やしてほしいです。	ニッペパーク岡東中央公園は、枚方市駅の近くにあり、お祭りや出店などで一年を通して大人も子どもも、みんなで楽しんでいただく広場ですので、たくさんの遊具は置いていませんが、その代わりに、小学校で、たくさん遊べるように放課後の学校の開放を進めているところ。また、鉄棒、ジャングルジム、砂場などは、枚方市駅近辺では、次の公園に置いていますので、ご利用ください。 ●宮之阪公園(宮之阪3丁目21-8地先):ジャングルジム・鉄棒があります。 ●ちびっこひろば(岡南町16地先):のぼり綱複合遊具、砂場があります。 ●岡東公園(岡東町16地先):すべり台・砂場があります。	2020/4/24	2020/6/29	みち・みどり室
市有地の有効利用を早急にして欲しいことについて	近隣の公民館用途の土地について、40年余り使用されていません。早く有効利用して欲しい。	当該用地も含めて、市内にある自治会館未建設用地については、過去の住宅開発に伴い、開発業者から自治会館建設用地として市が寄付を受けましたが、自治会による会館建設に至っていない経過があります。当該用地の維持管理のため、業務委託により除草作業を行っていますが、有効活用の取り組みについては重要課題であると認識しています。令和2年度3月に策定した「枚方市市財政改革プラン2020」に位置付け、地域による活用の意向を踏まえ上で具体的な方策について検討を行います。	2020/5/4	2020/6/18	市民活動課
防災無線の騒音について	小学校の防災無線の騒音が我慢できません。	防災行政無線については、毎年のように発生する災害に対し、自治体として迅速で確実な対応が求められる中、特に避難勧告や指示といった市民の命や安全を守るための情報は、あらゆる手段を用いて、いち早く、全ての市民に伝えなければなりません。ホームページやエリアメールといったインターネットを活用した情報発信に加え、小学校など市内53か所から市内全域へ一斉に放送できる防災行政無線は、市民の耳に直接届く重要なツールであり、今後も活用していく必要があると考えています。新型コロナウイルスに関する啓発放送につきましても、緊急事態宣言は解除され、放送回数を減らしていますが、第2波が懸念される中で、今後も市民の皆様幅広く呼び掛けていかなければなりません。市民の皆様には、ご理解とご協力をお願いいたします。	2020/6/1	2020/6/29	危機管理室
広報と花火について	広報は、白黒で十分です。その費用を花火に回してください。枚方市だけで無理なら、高槻市と合同実施なども検討して欲しい。	本市では、花火大会の開催について、これまで検討を重ねてきました。しかし、交通規制などの安全面や大量のゴミ処理などの環境面の課題、花火大会の開催に要する多大な財政負担があり、現在実施は困難な状況です。しかしながら、新型コロナウイルス感染症収束後においては、市民の皆様への賑わいや活気が復興するイベントの開催に向けて、準備を進めていきます。広報については、フルカラーの写真やイラストを用いた記事を掲載することにより、市民の皆様へ伝わりやすく、魅力のある広報紙を目指しています。なお、近年では、カラー印刷の需要が高まっていることなどから、印刷業者によるモノクロ印刷とカラー印刷との見積り額の差は、1部1円以下となっています。	2020/6/2		観光交流課 広報プロモーション課

市長への提言 令和2年6月末日現在					
件名	要旨	市の考え方	受付日	回答日	担当部署
慣らし保育について	<p>現行の制度だと、慣らし保育の期間が全然取れません。制度の見直しをお願いします。</p>	<p>保育所(園)等のご利用は、就労等の理由により「父・母のいずれもが家庭での保育が困難である」ことが条件となります。育児休業中については、この条件に該当しないことから、原則として保育所(園)等をご利用いただくことができません。</p> <p>しかし、新しく保育所(園)等に入所するお子様については、集団生活への適応等に配慮し、ご希望に応じて、育児休業終了前であっても、通常より短い時間で保育所(園)等での保育をご利用いただける「慣らし保育」を実施しています。</p> <p>「慣らし保育」の実施の有無・実施期間は市町村により異なります。慣らし保育をご希望の方、すぐに職場復帰を望まれる方、入所できず待機している方など、状況により様々なご意見・ご要望があることは存じています。その上で、保育所(園)等の利用を家庭での保育が困難である場合に限定している保育制度の趣旨や、待機している方との公平性を考慮して、現在本市では、1週間を限度として入所日を前倒しする形で「慣らし保育」を実施しています。</p> <p>※なお、「慣らし保育」の期間については、「保育所(園)等利用の手引き」7ページの「5. 保育所(園)等入所日」の②に記載しております。「保育所(園)等利用の手引き」は、枚方市役所保育幼稚園入園課窓口等で配布している他、市ホームページ(https://www.city.hirakata.osaka.jp/0000026015.html)にも掲載しています。</p>	2020/6/16		保育幼稚園入園課